



フジサンケイグループ エフシージー総合研究所主催

講師は全員、現役の報道関係者・広報担当者!!

『新任広報マン夏期講座』

広報活動に必須の知識とテクニックをすべて教えます

2015年

7/3(金) ▶ 7/31(金)

全5回 毎週金曜日 13:30~17:00 (第1回と第5回を除く)

会場: 日本記者クラブ (第5回を除く)

千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル 9階 / TEL 03-3503-2721

フジサンケイグループの一員であるエフシージー総合研究所では、企業や団体の新任の広報担当者のための5週連続の実践的な広報セミナーを開催いたします。広報の基本知識からマスコミへの情報発信、社内広報、危機管理、新聞・テレビはじめ各マスコミへのアプローチ方法など広報のA to Zを体系的に学べるプログラムです。

講師陣は経験豊かな現役広報担当者をはじめ、産経新聞、フジテレビの編集・報道責任者など、全員広報と報道の最前線にいる現役のメンバーです。広報業務を改めて見直したいとお考えの担当者にもお勧めです。少人数制クラスで、フジテレビの見学会のほか、初回には懇親会を開いて講師陣とご参加の皆さまとの情報交換、広報担当者同士のネットワークづくりをお手伝いいたします。

7月 3日(金)	第1回	広報パーソンに求められる基本知識とスキル
7月 10日(金)	第2回	ウェブによる情報発信とニュースリリースの正しい書き方講座
7月 17日(金)	第3回	社内報づくりのポイントとCSR/社内広報活動の強化策
7月 24日(金)	第4回	平時と緊急時の広報活動
7月 31日(金)	第5回	テレビメディアと広報(講義)・フジテレビ見学会

募集定員

25名

受講料(税別)

90,000円(一般)

70,000円(フジサンケイ広報フォーラム会員)

2015 新任広報マン夏期講座プログラム・講師一覧

第1回 7月3日(金) 13:30~18:00 日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「広報パーソンに求められる基本知識とスキル」 (適宜休憩を取ります)

13:30~15:00	「広報業務のABCと広報パーソンに要求されるスキル」 新日本有限責任監査法人 BMC 本部広報室 室長 佐藤宏之氏
15:00~16:00	「経済誌の取材体制と経済誌記者から見た企業広報」 「週刊東洋経済」編集長代理 西村豪太氏
16:00~17:00	「新聞社の取材体制と新聞記者から見た良い広報パーソンとは」 産経新聞編集局経済本部長兼FBi編集長 関根秀行氏
17:00~18:00	名刺交換を兼ねた懇親会

第2回 7月10日(金) 13:30~17:00 日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「ウェブによる情報発信」と「記者に拾われるニュースリリースの作り方実践講座」

13:30~15:00	「ソーシャルメディアの基本知識と企業広報での効果的な活用方法」 —ウェブ上でのコミュニケーションの注意点をお教えします— 博報堂 DY メディアパートナーズ 森永真弓氏
15:00~17:00	「記者に拾われるニュースとは—現役記者が教える選別のポイント」 —読まれるニュースリリースの作り方、実践講座— 産経新聞多摩支局長 三浦恒郎氏

第3回 7月17日(金) 13:30~17:00 日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「社内報づくりのポイントとCSR/社内広報活動の強化策」

13:30~15:00	「社内広報の重要性と訴求すべきコンテンツ」 『月刊総務』編集長 豊田健一氏
15:15~17:00	「CSR推進と社内コミュニケーションの連携・強化策」 (公社)日本フィランソロピー協会 理事長 高橋陽子氏

第4回 7月24日(金) 13:30~17:00 日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「平時と緊急時の広報活動」

13:30~14:30	「ニュースになるのは経済面だけではない」 —掲載数を増やすための極意を教えます— 産経新聞編集局文化部長 小川記代子氏
14:45~16:00	「平時と緊急時の広報活動」 —緊急時に慌てないために— 西武ホールディングス取締役上席執行役員広報部長 西山隆一郎氏
16:00~17:00	「緊急時のマスコミ対応」 —炎上させない広報対応のポイント— 産経新聞編集局副編集長 菊池昭光氏

第5回 7月31日(金) 13:30~17:30 フジテレビ見学会

■ 講習のテーマ「テレビメディアと広報」・フジテレビ見学会

13:30~14:30	「報道番組と企業広報」 フジテレビジョン 報道局経済部デスク 智田裕一氏
15:00~16:30	フジテレビ見学会
16:30~17:30	「テレビ局の組織とテレビマンの特徴」 フジテレビラボ LLC 合同会社 社長 時澤正氏

主な講師のプロフィル(順不同)



関根秀行(せきね・ひでゆき)氏

産経新聞編集局経済本部 本部長兼フジサンケイ ビジネスアイ編集長

1987年産経新聞東京本社入社。宇都宮支局、静岡支局、政治部などを経て2005年経済部次長。06年大阪本社経済部次長。09年経済本部次長。10年編集企画部長、12年企画業務室長。13年3月から現職。経済部では自動車、流通、日銀、国交省、財務省などを担当。



三浦恒郎(みうら・つねお)氏

産経新聞社多摩支局長

1985年早稲田大学卒、日本工業新聞社(現フジサンケイビジネスアイ)入社。94年産経新聞社に異動となり、横浜総局勤務を除いてほぼ経済部に所属。経済部次長、大阪経済部次長、ビジネスアイ編集長などを経て新潟支局長。2011年12月からエフシージー総合研究所情報調査部長。13年10月から現職。



豊田健一(とよだ・けんいち)氏

ウィズワークス(株)『月刊総務』編集長 ナナ総合コミュニケーション研究所

1965年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。(株)リクルート、(株)魚力を経て、(株)ナナ・コーポレート・コミュニケーションに入社。「月刊総務オンライン」、社内誌編集サポートサービス「Commu-Suppo」を立ち上げ、2012年6月より現職。このほか、一般社団法人組織内コミュニケーション協会 専務理事、ナナ総合コミュニケーション研究所の主任研究員などを務める。



佐藤 宏之(さとう・ひろゆき)氏

新日本有限責任監査法人 BMC 本部広報室 室長

アメリカン・エキスプレスの法人カード営業を経て、1994年広報・マーケティングPRの専任に。1997年からソフトバンクで孫正義社長のもと、メディア対応や危機管理に従事。2002年、大手からベンチャー企業のコミュニケーション戦略の立案・実行や危機管理広報、マーケティングPRなど、企業コミュニケーション全般のアドバイザーを務めた。現在は、新日本有限責任監査法人において広報実務の責任者を務める。



高橋 陽子(たかはし・ようこ)氏

公益社団法人日本フランソロピー協会 理事長

1973年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。85年から関東学院中学・高等学校心理カウンセラーとして生徒・教師・父母のカウンセリングに従事。91年社団法人日本フランソロピー協会に入職。事務局長・常務理事を経て2001年6月より現職。『社会貢献へようこそ』(求龍堂)など著作多数。社会福祉法人東京都社会福祉協議会評議員など数多くの公職にも従事。



菊池 昭光(きくち・あきみつ)氏

産経新聞編集局副編集長

1989年慶應義塾大学文学部卒、産経新聞社入社。整理部、社会部、(警視庁捜査1・3課、同サブキャップ、国会、厚生省、遊軍)などを担当。水戸支局デスクを経て、2003年7月夕刊フジ報道部次長。08年12月から産経新聞社にもどり社会部次長、文化部次長、山形支局長。東日本大震災以降、東北総局(仙台)で現場取材班総括。東北総局次長、社会部次長を経て、14年から現職。



時澤正(ときざわ・ただし)氏

フジテレビラボ LLC 合同会社 社長

1984年東京大学法学部卒、通産省(現経済産業省)入省。89年フジテレビジョン入社。報道局記者、パリ駐在を経て、ニュース系情報番組のプロデューサーを担当。インターネットなど新たなメディアを使った番組のプロデュースを手がけた。2006年インターネットとリアルの双方で行われる企業活動を「動画」を通じて支援するフジテレビラボLLC合同会社の社長に就任。

(株)エフシージー総合研究所

〒135-0064 東京都江東区青海 1-1-20
ダイバーシティ東京オフィスタワー6F

担当: 大島
E-Mail:koho@fcg-r.co.jp

*下記申込書にご記入のうえ FAX をお送りいただくか、
または弊社HPからお申し込みください。

*お申し込み受け付け後、担当者から確認のご連絡をし、請求書をお送りします。

Tel: 03(6891)8501

Fax: 03(6891)8516

<http://www.fcg-r.co.jp>

***お申込み後のキャンセルはお受けできません。**

2015年7月3日（金）～7月31日（金）開催 「新任広報マン夏期講座」申込書

申込日	年	月	日
企業・団体・大学名			
部署/役職			
※2名以上の場合もこの欄にご記入ください (ふりがな) 氏名			
〒 所在地			
連絡先	TEL:	FAX:	
E-mail:			

*個人情報の取り扱い 本セミナーの「申し込み書」で、ご記入いただいた個人を特定できる情報については、次の通り利用させていただきますので、ご了承ください。①お申し込みいただいたセミナーの運営および、それに必要なご連絡 ②各種セミナーのご案内。

*今後このようなDMを希望されない場合には、お手数ですが下記までその旨をお申し出ください。

【DM中止受付窓口】TEL:03(6891)8501

*FAXでお申し込みいただいた場合、必ず受領確認のご連絡をさせていただきます。送信後、3営業日以内に事務局から連絡がない場合は、お手数ながらお電話で連絡くださいますよう、お願い申し上げます。



交通アクセス

《地下鉄》

- 千代田線・日比谷線「霞が関」駅 C3出口
- 丸の内線「霞が関」駅B2出口

- 都営三田線「内幸町」駅A7出口

- 銀座線「新橋」駅 B出口 徒歩約10分

- 都営浅草線「新橋」駅 8出口徒歩約10分

《JR》

- 新橋駅から徒歩約10分